

キャスターご使用上の注意

1.用途

キャスターは、移動や搬送を容易にする目的で搬送機器・各種機器類に取り付けられるもので、人力で間欠的に搬送する物です。

2.キャスターの選定と使用条件

<適性荷重>

移動が容易にでき、長期にわたり安全にご使用いただけるよう、積載される総重量を見積り、それに見合った許容荷重の物をお選びください。偏荷重および多少の衝撃を考慮し、適性荷重は0.8掛けにて余裕を見るのが一般的です。

適性荷重=1ケの最大荷重×4×0.8(4ケ使用の場合)

<環境>

高温・低温・多湿・塩分・酸・アルカリ・油・その他薬品などの影響を受ける特別な環境でのご使用は避けてください。

特殊条件でのご使用の場合は、メーカーにご相談ください。

3.キャスターの取付け

- 同シリーズを組み合わせでご使用ください。
- キャスターは正しく取り付け、ボルトやネジのゆるみが生じないように締め付けてください。(例:12mm時トルク300~500kg-cm)
- 固定キャスターは、完全に平行になるように取り付けてください。

4.使用上の注意

<設定条件>

- 適性積載荷重以上で使用しないでください。
- 段差のある場所、著しい凹凸のある場所などでの衝撃、落下による衝撃を加えないでください。
- 動力による牽引はしないでください。
- 固定キャスターの走行方向以外の移動はしないでください。
- 規定の温度(-5℃~60℃)を超える環境では使用しないでください。
- ネジ・ボルト・ナットが緩んだ状態のまま使用しないでください。
- 本来の目的以外の使用で、キャスターの取り付けしたものに乗りしないでください。

<ストッパー>

- 長年の使用による摩耗・損傷による機能の低下や衝撃により、予期せずストッパーが解除されることがありますのでご注意ください。また、硬い車輪の場合は、出荷当初より他の車輪に比べて制動機能が劣ります。制動性能については、製品安全上、特に必要がある場合には「車輪止め等」を使用してください。
- ストッパーペダルの操作は、足で確実に行ってください。
- ストッパーをかけた状態で、無理に動かさないでください。
- 走行中ストッパーをかけた後、ストッパーをブレーキがわりに使用しないでください。
- 傾斜面でストッパーをかけたまま放置しないでください。特に必要がある場合は、車止めなど他の手段をご使用ください。

<製品の改造>

- 使用者の責任に於いて、製品の改造、組み換え、塗装することや溶接などについては責任を負いかねますのでご了承ください。

5.点検およびメンテナンス

- キャスター・車輪は保守点検を定期的実施してください。
- 通常点検は、キャスターの取付部分の締め付けが完全か、キャスターに破損・亀裂・変形の有無・車輪のベアリング・シャフトの締め付け、タイヤの破損・亀裂・磨耗の有無を確認してください。
- 旋回部やベアリング部の油切れや、異物の巻き込みなどを除去した後、給油を確実に実施してください。
- 旋回キャスターで、一番重視する部分は、上皿・下皿の間の口開き具合であり、衝撃によって口が開き、極端な場合ボールが飛び出して、旋回機能が阻害されるものがありますので直ちに新品と交換してください。